

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動全般について、満足している生徒・保護者を90%以上にする。 学校が好きだと感じる生徒を90%以上にする。 探究活動に積極的に取り組む生徒を80%以上にする。 生徒の「特色ある探究活動(4つのiTanQ、探究型インターンシップ・申請型フィールドワーク)」への参加経験がある生徒を50%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の開催に当たり、生徒自らが主体的に計画や運営に携わることで、成功や失敗の経験をしたり協働したりしながら、自己肯定感や対人関係能力を向上させる。 職員研修等を通じて教育の質を高め、本校の教育目標や教育活動への共通理解を図りながら、全職員が連携し目標達成を果たせるよう、組織力を高める。 探究活動の充実のために、全職員が連携して取り組むための組織化を図る。 生徒の探究意欲を高めるために、5つの「iTanQ」の内容の充実を図り、生徒に参加を促す。 						
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業満足度を90%以上にする。 授業等の学習活動を通じて、学力向上が実感できた生徒を85%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 非認知能力の育成やエージェンシーを発揮する場面設定を意識した指導の充実をめざし、職員研修等を通じて授業改善を推進する。 職員間で「授業づくり」について学び合う意識を高めるため、授業参観や教科内研修を通じて実践力向上を図る。 						
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「発表する力」「聴く力」が高まったと回答する生徒を80%以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や探究活動において、ICT機器を活用するとともに、協働的な学びを充実させ、生徒の表現力やコミュニケーション力を高める活動を積極的に行う。 					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ違反数や自転車事故件数を昨年度以下にする。 学校全体のヘルメット着用率を100%にする。 悩み等の相談体制への満足度を85%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導や交通安全指導など日頃から行っている指導内容について、生徒自身が考え取り組むことで、生徒の主体性を育成し、自己管理能力の向上を図る。 ヘルメット着用について生徒が主体的に考え、交通安全に対する意識向上を図る。 スクリーニングや日常の生徒観察を充実させ、悩みを持つ生徒を早期に把握し適切に指導するとともに、スクールカウンセラーと連携して組織的に対応する。 						
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> SNS等に関するいじめや犯罪被害をなくす。 いじめの発生防止に努め、いじめの解消率を100%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 伊高SNS利用宣言について各クラスで周知徹底し、生徒がICTの活用について主体的に考えることで、情報モラルの向上を図る。 いじめ悩みアンケートを年に3回実施し、いじめの防止と早期発見に努める。また、いじめ防止フォーラムの情報を学校全体で共有し、いじめについて生徒たちが主体的に考える場を設定する。 					
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「挨拶がきちんとできる」と回答する生徒を85%以上にする。 部活動等の学校生活に主体的に取り組んでいる生徒の割合を85%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の振興を図り、心身の鍛錬や社会性の育成など人間力の向上を目指し、学校全体の活気につなげる。 ボランティア活動や探究活動など、校外での活動を積極的に支援し、生徒の意識・意欲の向上と主体性の向上につなげる。 					
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> (1年)進路を意識して学習する生徒を70%以上にする。 (2年)第一志望の大学が定まった生徒を80%以上にする。 (3年)進路目標が定まり、学校からの進路情報が有意義であったと考える生徒を90%以上にする。 読解力の向上をめざす指導を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会(保護者対象)、進路ガイダンス(生徒対象)、進路通信(両者対象)の配付等により、進路意識の高揚を図る。 「Claasi」を活用して模擬試験の事前事後指導を行い、「スタディサプリ」を利用して授業の学習内容の抜け漏れを把握し、課題配信による一人ひとり必要な個別学習を推進し、家庭学習を自主的に進められるようにする。 読解力の向上を目指すため、「進路ナビ」を使って時事問題対策を行ったり、新聞記事を読み込んで読み取りや要約の練習を定期的に行う。 						
		8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「学年+1時間の学習時間」を確保しようとしたと回答する生徒を70%以上にする。 						
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> HPやInstagram等の情報発信に対する保護者の満足度を90%以上にする。 学校説明会、オープンスクールの来場者、webページ閲覧者を昨年度以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な情報発信ツールを活用し、より迅速に情報を更新できる体制を整える。 「伊高だより」等を定期的に発行するとともに、様々な発信方法を活用し、保護者や地域、中学校等に学校の活動を伝える。 地域社会への情報発信と共に、地域社会の声を学校づくりに反映させる。 						
VI 教育デジタル化に努めています	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に学習用端末を活用する職員を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一台学習端末及びBYODに対応した授業がより充実できるような環境や体制を整備する。 						
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業以外の業務でICTを活用できる職員を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した職員研修及び授業研究会を実施し、職員の資質向上を図る。 					
VII 積極的な国際交流と実用的な英語教育に取り組み、国際社会に通用する資質を身に付けさせるよう努めていますか。	12 グローバル人材の育成に向けて、実践的コミュニケーション能力の育成推進を図っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 年3回、各大学が提供する出張講義を生徒に受講させる 英検2級以上の合格率を普通科40%以上、グローバルコミュニケーション科80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣県の国公立大学の教授による、生徒が英語を運用することを重視した学習を通して、実践的コミュニケーション能力を向上させる。 英検などの資格試験の受験を推奨し、自己目標を設定させ、英語学習の意欲を喚起する。 						
		13 国際理解教育の充実を図っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコミュニケーション科の英語学習プログラムについて、満足している生徒を80%以上にする。 普通科生徒が5名以上、グローバルコミュニケーション科のプログラムや、学校で紹介する海外短期研修に参加/応募するよう周知と啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習プログラムの実践や国内や海外の英語研修(派遣・受入)のプログラムを通して、生徒の実践的コミュニケーション能力の向上を図ると共に異文化理解を深める。あわせて、オンラインでの国際交流も模索する。 					